

令和3年3月  
国際統括官付

## 第210回ユネスコ執行委員会の結果について（報告）

### 1. 開催概要

- ・日時：令和2年12月2日（水）～11日（金）（於：オンライン）  
令和3年1月20日（水）～27日（水）（於：オンライン）

新型コロナウイルスの状況に鑑み、2回に分けて開催された。ユネスコ日本政府代表部が対応。

#### <ユネスコ執行委員会について>

- ・ユネスコ加盟193カ国が参加するユネスコ総会（2年に1度開催）に次ぐユネスコの意思決定機関であり、春と秋の原則2回、パリのユネスコ本部で開催。
- ・ユネスコ加盟193カ国の中から、地域枠に応じて投票で選ばれた58カ国により構成（任期4年）。再選禁止規定は無く、我が国は1952年以来継続して執行委員国を務める。
- ・ユネスコ日本政府代表部尾池大使が、前執行委員会（令和2年6～7月）より行財政委員会の議長を務めている。

### 2. 結果概要（主要議題）

#### （1）SDG4-グローバルレベル・地域レベルの調整及び支援の進捗状況【議題6】

##### 議題概要：

- ・ユネスコは、新型コロナウイルスへの緊急対応として、SDG-教育2030ステアリング・コミッティの緊急バーチャル会合等を開催。ユネスコ・ユニセフ・世界銀行・国際連合食糧農業機関による学校再開ガイドラインも策定。
- ・2020年10月には大臣級の2020グローバル教育会合（GEM）の臨時会合を実施。国内及び国際教育財政の保護、安全な学校再開、包摂性、衡平性及びジェンダー平等、教育及び学習の再考、学習のための衡平な接続・技術の活用が優先行動分野としてフォーカスされた。

##### 全体の議論：

- ・多くの国から、GEMの成功を歓迎する旨の発言あり。一方で、一部の国からは、事務局がステアリング・コミッティに関するビジョンをきちんと説明するべきである点等指摘があった。
- ・日本からは、教育の分断への緊急対応を継続的に実施してきたユネスコの取組を高く評価するとともに、GEMの優先行動分野として盛り込まれた安全な学校再開の実現については、我が国の知見や経験を共有できるよう努めたい旨発言。

- ・ ジャンニーニ教育担当事務局長補より、今後数カ月でグローバル・コーディネーションのメカニズムを整備していくためのシナリオ案を策定していく点、持続可能な開発のための教育（ESD）とグローバル市民教育（GCED）は次の時代を作り上げる新しいカリキュラムの策定に欠くことはできない点発言があった。

結果：

- ・ 各国における遠隔教育の効果に係るモニタリングをユネスコが支援することについて追記のうえ、決議案が採択された。

## （２）次期中期戦略案（41C/4）及び予算案（41C/5）のドラフトに関する予備的提案

**【議題 22】**

議題概要：

- ・ ユネスコの次期中期戦略（2020-2019）案及び次期予算（2022-2025）案に関する事務局からの予備的提案が行われた。

全体の議論：

- ・ 多くの国が事務局からの提案に賛成の意を示した。
- ・ 各国からの主な発言は以下のとおり。
  - アフリカ各国：プライオリティアフリカの推進及び定性的定量的な目標設定と達成評価メカニズムの設立を求める。
  - 欧州各国：人権を戦略目標のトップに持ってくるべき。また、LGBT への対応も盛り込むべき。
  - 韓国：教育分野において戦略目標を進めるためにもグローバルシティズンシップが重要である。
  - 中国：プライオリティアフリカを第5の戦略目標にすべき。
- ・ 日本からは、中期戦略及び改革の方向性に賛同するとともに、次期中期戦略の実施にあたっては非政治化への取り組みを並行して行うことが重要である旨、日本が教育、文化、科学の分野において多くのプロジェクトを支援している旨を発言。

結果：

- ・ 今後ワーキンググループを作り決議案のドラフティングを実施すること、その際の事業委員会及び行財政委員会の議長が共同議長を務めることが決定された。

上記以外の文科省関係議題は別添 1 を参照。

## 第210回ユネスコ執行委員会における文科省関係議題

## 【事業委員会】

## 議題 5.I.A 教育の未来

内容：教育の未来に関する議論の状況について報告が行われた。

## 議題 6 SDG4-グローバルレベル・地域レベルの調整及び支援の進捗状況

内容：SDG4の実現に向けた国際的、地域的メカニズムについて取組の状況報告がなされた。  
(本紙参照)

## 議題 7 国連大学：理事会によるレポート及び事務局長からのコメント

内容：2018年-2019年に国連大学が実施したユネスコ関連の活動に関して報告が行われた。

## 議題 8 ISCED-T (教員養成プログラムの国際標準分類) の開発に関する中間レポート

内容：ISCED-T ( ) 開発に関する中間報告が行われた。

ISCED (国際教育標準分類) をもとに、2019年11月より教員研修プログラムに関する標準分類の開発を行っており、第41回総会において策定される予定。

## 議題 45 G20 文化大臣会合 (サウジ提案)

内容：第211回執行委員会において、G20の文化大臣会合の成果を報告するとともに、文化に関する政府間会議を開催することが提案された。

## 議題 46 ユネスコユースフォーラム開催にあたっての考え (ロシア提案)

内容：ユネスコユースフォーラムの候補者の選出について、明確で透明な基準を設けることが提案された。

## 【事業・行財政合同委員会】

## 議題 5.III.D ユネスコの戦略的改革

内容：ユネスコの戦略改革についての進捗状況、各目標における成果や進展について報告が行われた。

## 議題 9 ラテンアメリカにおける学力国際比較調査 (LLECE) に関する評価

内容：内部監査部 (IOS) が LLECE の活動に関する評価を完了させたため、その要約が報告された。

## 議題 10 MAB 戦略 (2015-2025) 及びリマ行動計画 (2016-2025) に関する評価

内容：内部監査部 (IOS) が MAB 行動計画等の活動に関する評価を完了させたため、その要約が報告された。

### **議題 17 ユネスコのプログラム及び活動への新型コロナウイルスの影響**

内容：ユネスコの新型コロナウイルスへの対応及びプログラムや活動に与えている影響について報告が行われた。

### **議題 20 ユネスコ国際教育局（IBE）の未来**

内容：スイス・ジュネーブに設置されているユネスコカテゴリー 1 センターである国際教育局（IBE）の再編成について、暫定的措置の進捗報告及び IBE を 2 つに分割する（ジュネーブと上海にそれぞれセンターを置く）提案を検討するワーキンググループの進捗報告が行われた。本件については、引き続き議論を行うこととなった。

### **議題 22 次期中期戦略案（41C/4）及び予算案（41C/5）のドラフトに関する事務局長の予備的提案**

内容：2022-2029 の次期中期戦略案及び 2022-2025 の次期予算案に関する予備的提案が行われた。（本紙参照）

## **【条約勧告委員会】**

### **議題 26.11 教育統計の国際的標準化に関する改正勧告の実施に係る統合レポート**

内容：第 41 回総会に提出される勧告の実施に関する統合レポートが執行委員会に提出された。

## **【ビューロー】**

### **議題 41 オープンサイエンスに関する勧告策定に係る政府間専門家会合の開催**

内容：オープンサイエンスに関する勧告の策定に向けて、政府間会合の開催が決定された。

### **議題 35 AI の倫理に関する勧告策定に係る政府間会合の開催**

内容：AI の倫理に関する勧告の策定に向けて、政府間会合の開催が決定された。